

〈大野地域の経済動向調査〉

【実施内容】

広島県や廿日市市等からの情報、(株)日本統計センターの「市場評価ナビM i e N a」などを活用し、大野地域の特性を把握。さらに詳細を把握するため、主要業種別に会員アンケートを実施し、経営指導員を中心に聞き取り調査を行うことにより会員事業者カルテを作成するとともに、観光関連産業の地域内の経済動向を分析する。また、業種別の調査・分析の結果などはビジネスモデルとして商工会に常備して、経営指導員の経営改善指導の際に活用するとともに、定期的に商工会だより・会員ニュース・ホームページ等に掲載し、地域・会員等に周知することにより、新商品開発や新規創業・第二創業を考える事業者の発掘に資する。

平成28年度実施報告

平成27年度に実施した調査結果の内容確認と景況感についてアンケート調査を実施。調査結果に各種統計情報を取り入れ報告書をまとめる他、会員事業者カルテの補完・更新を行った。

【調査目的】 地域内経済動向及び事業者情報の把握・分析を目的に調査を実施した。

【調査方法】 郵送調査法

【調査対象】 大野町商工会普通会員事業所：595社（平成28年12月15日時点）

【調査実施期間】 平成29年1月3日～2月8日

【有効回収件数】 調査票回収件数：125社（有効回収率21.0%）

調査対象事業者の内訳(業種別)	
販売	164
製造	55
建設	104
飲食・その他サービス	272

【アンケート調査内容（景気動向）】

- ・仕入単価（対前年・見通し）
- ・人員（対前年・見通し）
- ・在庫（対前年・見通し）
- ・設備（対前年・見通し）

【今後の展望】

取りまとめた報告書について公開できる情報を、商工会だより、会員ニュース、ホームページ等で提供する。会員事業者カルテは広島県商工会連合会が提供している「基幹システム」外で保持している情報についても更新を確実にし、最新の情報を維持することで、相談対応等に活用するとともに、蓄積される情報の活用方法についても検討していく。

【課題】

登録できるフィールドが無いことから、広島県商工会連合会の「基幹システム」とは別に、データベースソフト（MS-Access）に連携させて情報を保持しているため、将来的な整合性の担保に不安が残る。そこで、最終的には「基幹システム」への統合を目指す。

〈経営分析〉

【実施内容】

小規模事業者の経営改善や持続的発展に資するため、経営指導員の巡回・窓口相談、及び「大野地域の経済動向調査」で作成した会員事業者カルテや各種研修会の開催を通じて、個別の小規模事業者の経営分析を行う。専門的な課題等については、広島県や広島県商工会連合会、公益財団法人ひろしま産業振興機構、地域の金融機関などと連携して、専門家派遣を行い、事業者の抱える経営上の課題について、より丁寧にサポートする。さらには、特に新規創業者を主体に、新規加入会員向けの「商工会活用セミナー」を開催し、国・広島県・廿日市市、県連などの各種支援制度等を紹介し、その活用を促すとともに、定期的に巡回訪問し、事業経営持続化のための伴走型の支援を行う。

平成28年度実施報告

小規模事業者を対象に経営改善や持続的発展に繋がる各種研修会を開催した。

また、より高度な相談に対応すべく専門家派遣制度を活用し、ミラサポ11件、伴走型派遣16件の派遣を行った。この他、広島市産業振興センターの巡回個別相談窓口を活用し、10件が専門的指導を受けた。さらには、特に新規創業者を主体に、新規加入会員向けの「商工会活用セミナー」を開催し、国・広島県・廿日市市、県連などの各種支援制度等を紹介し、その活用を促すとともに、定期的に巡回訪問し、事業経営持続化のための伴走型の支援を行った。

【今後の展望】

分析の対象となる小規模事業者をピックアップし、その経営状況等を把握し、商品の需要動向やサービスの提供内容などの経営分析を行う。

【課題】

小規模事業者の経営分析をより有効に行うため、平成28年度に内容を充実させた会員事業者カルテの出力様式の充実を行うとともに、継続的な情報の更新・追加が行えるような仕組み（体制）づくりが不可欠である。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
巡回訪問件数	1,385	1,292/1,400	904/1,450	/1,500
研修会の開催回数	3	4/3	12/3	/3
経営分析事業者数	10	10/10	10/10	/10
商工会活用セミナーの開催回数	1	1/1	1/2	/2

〈需要動向調査〉

【実施内容】

観光庁の四半期ごとの需要動向調査速報や毎月の広島県の各種調査結果の分析とともに、直近の売れ筋商品の動向を把握するため、広島市内中心部にある市町村情報センター「ひろしま夢ぷらざ」や東京・銀座の広島ブランドショップ「TAU」での売れ筋商品の販売状況などを継続的に取得し、その分析を行うとともに、特産品開発特別委員会の開催や、案件により会員ニュース・ホームページに掲載し、会員による商品改良や新商品開発に資する。また、大野地域で提供する商品・サービスの需要動向を把握するため、「ひろしま夢ぷらざ」や「TAU」において、特産品フェアを開催する際、来場者アンケートや聞き取り調査を実施し、会員による商品・サービスの改善意欲の醸成を図る。

平成28年度実施報告

ひろしま夢ぷらざでの西広島フェアへ参加した。また、平成29年1月14日～15日、東京・銀座の広島ブランドショップ「TAU」にて開催された「廿日市まるしえ in TAU」に於いて、アンケートによる「廿日市市」及び「お土産」についての意識調査を実施した。

(廿日市まるしえ in TAU)



【今後の展望】

調査結果の集約結果について、会員ニュース、ホームページ等を通じて情報提供を行う。

【課題】

今回実施したアンケート調査の回答者91名は、絶対数が少ないことに加え年齢の偏りがみられることから、集約結果についての信頼度が充分とは言えない。別の機会に同様の調査を実施して信頼度を高める必要があると思われる。

【実施内容】

小規模事業者の経営課題の解決を図るため、「Ⅰ地域の経済動向調査」、「Ⅱ経営分析・需要動向調査」の調査結果等を踏まえ、廿日市市域内の3商工会（佐伯商工会・大野町商工会・宮島町商工会）と共同で、事業計画策定のためのセミナーの開催や個別指導を強化するなど、事業者がビジネスプランを策定するための支援を行うことにより、伴走型の指導・助言を行い、事業の持続的発展を図る。

平成28年度実施報告

各種団体との連携及び単独事業として、販路拡大等に向けた経営計画作成セミナーを年3回開催し、経営計画策定支援を実施した。意欲ある事業所は、小規模事業者持続化補助金にチャレンジし、29件の申請があり、うち11件の事業計画が評価を受け補助金申請が採択された。補助金を活用し、製造を中止していた商品をリニューアル販売に繋げ売上が伸びた事例など、様々な取り組みがなされた。

【今後の展望】

事業計画策定セミナーを年2回程度開催し、セミナー参加者を中心に専門家による個別相談を行い伴走型支援の実施。事業計画策定を行った事業者に対して、3か月に1回程度、事業者を巡回訪問し、フォローアップを行う。また引き続き、ホームページや商工会だより等を通じた各種支援施策の周知を行い、事業計画策定の機運の醸成を図り、事業計画の策定を目指す小規模事業者の掘り起こしにつなげる。特に、事業の再構築等を目指す事業者に対しては、「小規模事業者経営改善資金融資制度」の活用に加えて、平成27年度に創設された「小規模事業者経営発達支援融資制度」の積極的活用を助言する。

【課題】

事業計画を策定した事業者に対するフォローアップ体制が十分に整っていないうえ、事務局スタッフの人的リソースも不足気味であるため、事業計画策定事業所に対して、年間を通じて企画するセミナーへの定期的な参加を促す等の工夫が必要である。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
共同セミナーの開催回数	3	3/4	1/4	/4
単独説明会の開催回数	3	1/3	3/3	/3
事業計画策定事業者数	18	26/20	34/20	/20
持続化補助金の活用促進	17	25/20	29/20	/20
新融資制度の活用促進	0	1/1	0/2	/3
フォローアップ件数	20	25/25	29/25	/25

IV 創業・第二創業(経営革新)支援【指針②】

【実施内容】

地域における観光関連産業などのさらなる集積を促進するため、3商工会が連携して、創業希望者の掘起しを図り、廿日市市が開催（産振構・㈱日本政策金融公庫・廿日市商工会議所と共催）する創業・起業支援講座『しゃもじん創業塾』に、その参加を誘引するなど、新規創業や第二創業等の支援を行う。創業後も、巡回訪問等により、伴走型の支援を行う。

平成28年度実施報告

商工会カウンターへのパンフレット設置や、商工会ホームページ等での情報提供により、しゃもじん創業塾への誘引を行った。また、巡回相談等を通じて6件の創業希望者の掘り起こしを行ない、あわせて創業計画策定のための個別指導を実施した。

【今後の展望】

当会が発行する地域向け情報誌「商工会だより」等を通じて、国・広島県・廿日市市・県連等が実施する創業支援策の広報・案内により、創業希望者の基礎的知識の向上を図るとともに、引き続き、『しゃもじん創業塾』への参加を誘引する。また、『しゃもじん創業塾』の参加者等を中心に、金融・税務相談や記帳指導など、経営指導員や専門家による創業計画策定のための個別指導を行うことにより、伴走型支援を行う。そのほか、第二創業を目指す小規模事業者を対象に、国等の各種支援策を活用して新商品開発や店舗改装などを行った先輩経営者等を講師とする会員研修会・意見交換会を実施し、経営改善・革新意識の高揚を図る。

【課題】

創業後の商工会との関わりを保つため、新規創業者に需要が高いサービス提供を行っていく必要がある。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
しゃもじん創業塾の開催回数	5	5/5	5/5	/5
創業個別指導の件数	5	6/5	6/5	/5
会員研修会の開催回数	1	1/1	1/1	/1
フォローアップ件数	5	8/7	9/10	/10

【実施内容】

牡蠣・アサリ、もみじ饅頭・木工品、あなご飯などに続く『大野ブランド』を育成していくため、地域資源を活用した特産品の開発を進めるとともに、既存商品や開発した商品の販路を開拓していくため、各種商談会や「ひろしま夢ぷらざ」等に出展・出品する。また、市内での新たな経済循環を創出するため、廿日市市が開催している『産業連関強化塾』に会員の積極的な参加を促し、商工業者と農林水産業者の連携や、農林水産業の6次産業化を進めるなどの新たなビジネスの可能性を探る。また、観光客の受入態勢の整備の面では、『廿日市まちの駅構想』を推進し、地域に「まちの駅」を整備していき、高齢者等に優しい『大野ブランドのおもてなし』を実践し、おもてなしの地域づくりを進め、小規模事業者の販路開拓などを支援する。

平成28年度実施報告

開発支援した商品について、宮島口アンテナショップをはじめ、ひろしま夢ぷらざでの販売を行うなど、認知度向上を図った。また、廿日市市の「産業連関強化塾」については、商工会カウンターにチラシを設置する等、会員の参加を促した。「まちの駅」整備に向けては、伴走型補助金を活用しサテライトステーションとなる「まちの駅ネットワークはつかいち」を立ち上げるための支援を行った。まちの駅の知名度向上に向けたチラシ配布や、加盟店MAP、加盟店ホームページの作成などにより、2月1日のスタート時点で59店舗の加盟となった。この仕組みを、ビジネス展開に繋げるために、まちの駅スタンプラリーを開催するなど、地域への定着に向けた事業に取り組んだ。

加えて、市の宮島口商店街活性化補助金を活用し、食をテーマとした「はつかいちフードバレー」事業を支援すると共に、市内地域資源と宮島口飲食店のマッチング事業や地域資源活用「宮島口グルメフェア」（てくてくマップ作成）を実施しました。さらに、テストマーケティングとして、青年部を中心とした「宮島口団子」事業、インバウンド対応として、各店メニューの英語化事業に取り組みました。

〈まちの駅の機能〉

- 休憩機能：誰でもトイレが利用でき、無料で休憩できる。
- 案内機能：「まちの案内人」が、地域の情報について丁寧に教える。
- 交流機能：地域の人と来訪者の、出会いと交流のサポートをする。
- 連携機能：まちの駅間でネットワーク化し、おもてなしの地域づくりを目指す。

まちの駅紹介パンフレット



パンフレット表紙



まちの駅MAP 1/3



地域資源マッチング交流会



地域資源活用フェア



テストマーケティング



みやじまぐち美味しいものてくてくマップ

【今後の展望】

特産品開発セミナーを開催し、魅力ある新商品の開発を促進するとともに、開発した商品について「ひろしま夢ぶらざ」「TAU」等、販路の確保までをパッケージとした仕組みを構築することにより、『大野ブランド』（『宮島ブランド』）としての認知度の向上を図る。その内で一定の知名度が出てきたものについては、地域団体商標制度を活用して、『大野ブランド』として商標登録の検討を進める。また、平成29年2月からスタートしたまちの駅ネットワークはつかいちに参加した事業所が、この機能を活用しビジネスへとつなげていくために、個店の支援をするとともに、全体としてのイベント企画や支援などを実施する。あわせて、『東京オリンピック・パラ

リンピック』を目指し、観光客の受入態勢を整備していくため、広島県観光連盟やはつかいち観光協会等と連携して、業種・地域別に接遇・おもてなし研修会を順次、開催し、観光客に優しい『大野ブランドのおもてなし』として構築し、その認知度の向上を図る。

【課題】

「大野ブランドのおもてなし」としての「まちの駅」推進について、まちの駅の機能を活用したビジネス展開の仕組みは、参加者の意識向上とともに、まちの駅の知名度を上げていくための工夫が必要である。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
特産品開発セミナーの開催回数	1	1/1	2/1	/1
新商品の開発数	5	2/5	2/5	/5
(仮称)廿日市フェアの開催	0	1/1	1/1	/1
西ひろしまフェアの開催回数	1	1/1	1/1	/1
地域団体商標登録件数	0	0/0	0/1	/1
店舗リフォーム件数	0	5/5	2/10	/10
まちの駅認定件数	0	0/50	60/25	/25
おもてなし研修会の開催回数	0	1/1	3/2	/3

I 地域活性化事業

2 地域経済の活性化に資する取組み

【実施内容】

大野地域の調和の取れたまちづくりと地域の一体化を促進していくため、「事業委員会」及び特別委員会の「大野地域まちづくり推進委員会」での議論を基に、広島県・廿日市市が実施する各種事業や各種団体等が開催するイベント・祭りへの協力とともに企画・実施を支援することにより、交流人口の拡大や地域の結束を図る。また、大野中央地域への賑わい施設の実現化を図る。

平成28年度実施報告

平成28年度は以下の事業について参画した。

1. 厳島港宮島口地区整備事業への協力（県・廿日市市）…宮島口まちづくり推進協議会へ会長が委員として参画。
2. 大野中央地域への賑わい施設の整備への協力と推進（廿日市市）…市担当課との打合せ会に会長・専務が参加。
3. トライアスロン大会、駅伝への協力…大会実行委員会への参画の他、トライアスロン大会

の走路監視員として開催当日のボランティア参加。

4. けん玉ワールドカップ廿日市への協力…大会実行委員会への協賛参画の他、イベント広場への出店協力。

また、地域内で開催する次の各種イベント・祭りについては、それぞれの実行委員会の事務局として、実施計画の策定と、青年部を中心に当日の祭りの運営を行うとともに、新商品などの発表の機会を提供し、地域内だけでなく、域外からの来場者に紹介・販売することにより、そのブランド化や販路拡大に取り組んだ。

(事業内容ーイベント・祭り)

イベント・まつり名	基本開催時期	実施主体	開催目的
大野みんなのまつり 〔小田島公園〕	6月 第2土・ 日曜日	大野みんな のまつり実 行委員会	地域の商工・コミュニティ団体などが一堂に会して、地域商品の販売や各種団体の諸活動の発表などを行い、地域内外の来場者に大野地域情報を発信する。
宮浜温泉まつり 〔宮浜温泉グラウンドゴルフ場〕	8月 最終日曜日	宮浜温泉ま つり実行委 員会	主として温泉利用者等を対象に、宮浜温泉の良さの周知とともに、地域商品の販売などを通じて、宮浜温泉へのリピーターの確保と知名度の向上に資する。
ときめきフェスティバル 〔大野体育館周辺〕	9月 最終日曜日	ときめきセ ール会	ときめき（ポイント）カードの加盟店を中心に、商品の販売等を行い、カードの利用とともに、地域住民の大野地域内での生活用品の購入を促進する。
宮島お砂焼まつり 〔宮島口商店街周辺〕	10月 第3日曜日	宮島お砂焼 まつり実行 委員会	宮島口への来訪者を対象に、お砂焼の手作り体験や茶道・生け花教室などとともに、地域商品の販売を行い、宮島口（商店街）への滞在時間の拡大を図る。
大野かきフェスティバル 〔ボートレース宮島〕	2月 第1日曜日	大野かきフェ スティバル実 行委員会	宮島口への来訪者を対象に、大野の牡蠣・アサリや地域商品の販売などを行い、『大野瀬戸かき海道』のブランド力を高めるとともに販路拡大に資する。

【今後の展望】

引き続き、広島県・廿日市市が実施する各種事業や各種団体等が開催するイベントへの参画を行い、交流人口の拡大や地域の結束を図るとともに、大野中央地域への賑わい施設の実現化を図る。

【課題】

イベントを継続していくための協力者のモチベーション維持が課題である。

事業内容・手段	項目	26年度迄	27年度	28年度	29年度
大野みんなのまつり	出店者数	14	45/15	44/15	/20
	来場者数	12,000	12,500/12,500	12,000/13,000	/14,000
宮浜温泉まつり	出店者数	10	12/12	16/14	/15
	来場者数	1,000	1,100/1,100	1,200/1,200	/1,300
ときめきフェスティバル	出店者数	58	20/60	20/60	/60
	来場者数	3,000	2,000/3,500	4,000/4,000	/4,000
宮島お砂焼まつり	出店者数	37	40/40	40/40	/40
	来場者数	3,000	3,000/3,500	3,000/4,000	/5,000
大野かきフェスティバル	出店者数	26	41/28	40/30	/30
	来場者数	15,000	13,000/16,000	16,000/17,000	/18,000

I 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウの情報交換に関すること

3 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取

【実施内容】

3商工会及び県内商工会のうち広島芸南西ブロックを構成する5つの商工会〔広島市・五日市商工会、江田島市商工会、佐伯商工会、大野町商工会、宮島町商工会〕が共同で、定期的に経営指導員研修会や意見交換会を開催し、テーマによっては専門家にも参加してもらい、経営支援事例などの情報交換・共有を行い、支援能力の向上に努める。

平成28年度実施報告

五日市商工会、佐伯商工会、宮島町商工会と共同で、マル経融資に関する研修会・意見交換会を開催した。また、マル経制度について、5商工会（県連芸南西地域）の研修会に参加した。

【今後の展望】

5商工会（広島市・五日市商工会、江田島市商工会、佐伯商工会、大野町商工会、宮島町商工会）での共同研修会の開催、及び、専門家を招致しての事例発表など、広域での情報共有化に努める。

【課題】

県全域を対象とする研修会が多く開催されており、その場が3商工会・5商工会の職員同士が意見交換等を機会となっているため、改めて実施する機運の醸成が求められる。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
3 商工会共同研修会の開催	0	1/1	1/2	/2
5 商工会共同研修会の開催	0	1/1	1/1	/1

II 経営指導員等の資質向上等に関すること

3 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

【実施内容】

全国商工会連合会、県連、広島県商工会職員協議会等が主催する研修会への経営指導員等の積極的な参加に加え、中小企業大学校のマーケティング・販売戦略やその他の研修機関等が実施する販路開拓・売上げ増を目指す実践的研修会へ参加する。また、そうして習得した内容・情報を月1回、全職員による勉強会を開催し、商工会内で共有するとともに、芸南西ブロック等の商工会職員研修会で積極的に発表するなど、経営指導員の指導能力・プレゼンテーション能力の向上を図る。若手経営指導員については、専門家やベテラン経営指導員とチームで小規模事業者を支援することなどを通じて、指導や助言、情報収集方法を習得するなど、OJTにより、伴走型の支援能力の向上を図る。

平成28年度実施報告

指導職員基本研修や経営革新支援研修会等、年間を通じて研修会に積極的に参加し資質向上に努めた。

【今後の展望】

引き続き、義務研修に限らず、職務に有効と考えられる研修への参加を行っていく。

【課題】

研修内容を共有する為の、職員による勉強会が毎月は開催できなかった。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
中国ブロック研修会の参加	0	0/1	4/1	/1
職員協議会研修会の参加	2	2/2	6/2	/2
中小企業大学校研修の参加	1	0/1	1/1	/1
商工会内勉強会の開催	0	0/10	4/12	/12

Ⅲ 事業の評価および見直しをするための仕組みに関すること

3 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支障力向上のための取組

【実施内容】

本計画に記載の事業の実施状況及び成果については、毎年度、事業評価委員会により、評価・検証を行う。

平成28年度実施報告

商工会内に、三役、各部長、監事、廿日市市、広島県商工会連合会、外部の有識者を交えた事業評価委員会を設置し、年度中途での事業の経過・進捗状況の報告を行った。

【今後の展望】

年度終了後、事業評価委員会を開催し、結果報告、成果・評価、見直しを行う。また、審査結果を理事会・総代会に報告するとともに、広島県・廿日市市へ報告する。事業の実施状況・成果などについては、地域の小規模事業者の閲覧に供するとともに、商工会だより・商工会ニュース・ホームページにより、会員事業所及び地域住民に周知する。なお、年度中途の経過報告において、進捗状況が十分でない項目がある場合は、「事業委員会」を開催し、年度後半の事業実施の強化を検討するとともに、翌年度の事業計画の見直しや事業促進に反映する。

【課題】

PDCAについての評価を行うための報告書のフォーマットについての改善が求められる。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
事業評価委員会の開催	0	2/3	2/2	/2
商工会だよりの発行	(2)	2/2	2/2	/2
商工会会員ニュースの発行	(8)	5 (随時)	5 (随時)	(随時)
ホームページへの掲載	0	0 (随時)	6 (随時)	(随時)